福祉・介護職員等処遇改善加算に基づく取り組みについて

社会福祉法人　あさみどりの会

平成８年６月

【処遇改善加算の取得状況】

事業所名（サービス種類）	処遇改善加算の区分	取得している福祉専門職員配置等加算等
べにしだの家（施設入所）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	対象加算なし
べにしだの家（生活介護）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	福祉専門職員配置等加算
べにしだの家（短期入所）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	対象加算なし
べにしだ共同生活援助事業所（共同生活援助）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	福祉専門職員配置等加算
相談支援事業所べにしだの家（計画相談支援）	処遇改善加算	
相談支援事業所べにしだの家（障害児相談支援）	処遇改善加算	
れいんぼうワークス（生活介護）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	福祉専門職員配置等加算
れいんぼう共同生活援助事業所（共同生活援助）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	福祉専門職員配置等加算
あらくさ（生活介護）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	福祉専門職員配置等加算
あらくさ共同生活援助事業所（共同生活援助）	処遇改善加算Ⅰ(イ)	福祉専門職員配置等加算
さわらび園（児童発達支援）	処遇改善加算Ⅲ	
さわらび園（保育所等訪問支援）	処遇改善加算Ⅲ	
児童発達支援センターさわらび園（障害児相談支援）	処遇改善加算	

【賃金以外の処遇改善に関する主な取組内容】

職場環境要件項目		当法人としての具体的な取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	・方針や施策を定めホームページなどで公表し、面接時や就職説明会にて案内をしている
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	・定期的に見学会を実施し、他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、無資格者の採用に繋がっている
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	・勤務シフトの考慮等を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている ・受講料等、資格取得に係る経費を法人が負担する制度を設けている
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	・年に1回、今後のキャリアプランを一緒に考える面談を実施している
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	・希望するライフスタイルに応じた勤務形態に配慮すべく、短時間勤務正規職員制度の導入、非正規職員から正規職員への転換制度を整備している
	障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮	・関係機関と連携を持ちながら、本人の体調、意向を確認の上必要に応じて勤務シフトや業務内容を配慮し、本人の障害特性と併せて必要な情報をスタッフ間で共有している
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	・保険会社の従業員向け福利厚生サービスに加入し、健康相談、セカンドオピニオン、メンタルケアカウンセリング、生活習慣病サポート、がん治療と仕事の両立支援、二次健診機関の手配など健康管理に関するサービスの窓口を外部に設け、社内の人に言えない悩みも相談しやすい窓口を設定している
	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	・入浴支援用のリフトを導入し職員の腰痛対策を行っている
生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	・課題抽出を会議の中で行い、対応策を示した会議録を配布、共有している ・施設内の物の位置や事故防止について掲示をする等環境を整えている
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	・必要に応じて業務マニュアル、記録用紙を作成、情報共有をし、スタッフによって対応の差ができないようにしている。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	・入浴支援用のリフトを導入し職員の負担軽減を図っている ・夜間支援時の緊急呼び出し、避難訓練などトランシーバーを活用している ・ビジネスチャット等を使用し、職員間の連絡調整を迅速に行っている
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	・日々の申し送り、ケース会議、職員会議や臨機にはスタッフ間で話し合う場を設け、状況報告だけではなく、支援者の思いを表現したり、関わりの振り返りを行いながら、支援方針のすり合わせをしたり、よりよい支援を考えていく機会を設けている
	地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	・半年に1回他事業所とも共同で地域の方が幅広く参加できるイベントを開催している ・事業所内の活動に近隣の学生が参加できるプロジェクトを開催している ・地域のマルシェやイベントに出店、出展している